



# 8月の園だより

令和元年 8月 1日

暑中お見舞い申し上げます。

ようやく梅雨が明け、暑い暑い夏がやってきました。

たくさん遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかり休息を取りながら暑い夏を元気に過ごしていきたいと思  
います。

8月は、家族で出かけられることも多くなると思います。お子様から目を離されず、事故・ケガには十分注意  
されてください。

## 空クラス保育参観と保護者説明会

8月24日(土) ☆幼児教育保育の無償化についての説明  
☆空クラス保育参観  
詳細は後日お知らせします。

## お知らせ

8月9日(金) 18:30～福石観音の千日祭に月組と職  
員が太鼓を演奏します。  
8月24日(土) 16:00～19:00  
当園で夕涼み会を催します。  
ぜひお出かけください。

## お願い

気温の上昇など、天候によっては保育の計画の変更もあり  
ますのでご了承下さい

今月の保育料の引き落としは8月15日になります

7月23日(火)に避難訓練をしました。

## SAKURA COLUMN

♪子どもの世界には正解はない♪

大人は、何事においても、良いか悪いか、正解か  
不正解かと白黒つけたがりですが、子どもの世界に  
は正解はありません。子どもはその時の感覚で、  
様々なことに興味関心を持ちながら成長していきま  
す。先日行われた年長さんの青少年の天地でのお泊  
り保育でも、ネイチャーゲームで森の中を「ぐるぐ  
るのもの」や「ふわふわしたもの」を探して駆け巡  
りました。そこでは、どれが正解でどれが不正解と  
いうことはなく、子ども達の感性だけを頼りに、豊  
かなイマジネーションを働かせていました。泣いた  
り、笑ったりしながら、自分のことだけではなく、  
お友達の気持ちにも寄り添える子どもたちの成長に  
感動した2日間でした。

## ご意見・ご要望

近隣の方より路上駐車により、  
車の往来がしにくかった上に、車中の方の態度が悪  
かったとの通報がありました。ご注意ください。

## 【8月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
			1	2	3
5	6 絵画教室(学童)	7 絵画教室(学童)	8	9	10
12	13 お盆期間 (給食なし) 延長保育なし	14 "	15 "	16 通常保育 (給食なし) 延長保育なし	17
19	20	21	22 誕生会	23	24 保育参観 (空クラス) 夕涼み会
26	27	28	29	30	31 園外研修

## 道徳性・規範意識の芽生え

<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿>

エ. 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつつたり、守ったりするようになる。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

道徳性は、相手に対する思いやりの気持ちから生まれます。これは葛藤やつまずきといった体験を乗り越えることによって、次第に芽生えていきます。他の子どもと関わる中で、まずは他人の存在に気付き、次には自分の体験を通して、相手に対して、してよいことと、いけないことの区別が実感としてわかっていくようになります。

～園の集団の中で子どもたちは子ども同士の関係からいろんなことを学んでいきます。～



育てたきゅうりを食べているところです。  
きゅうりのほぼそのままの味を味わっています♪



いす取りゲームのコマ☆



お友だちがトラブルになって“なかよしのテーブル”で話しをしている時に、お互いの話を聞いて、解決しようとする子がいます。



大根の種を収穫しました☆

❖ 子どもが興味関心を持ったことが自らやれる空間

### ゾーンあそび

ゾーンはその日によって、また時間帯によって開ける所(開)、開けない所(閉)があります。最初は保育者が決めていましたが、今では子どもたちが決めています。

話し合いの中でも「うん! それで遊びたい!」

「えー、こっちも開けてほしいなあ...」

「ここは今は開けられない...」などいろんな

思いがうまれます。共感したり折り合いを付けたり、

きまりを守ったりすることで子どもたちは大きな

成長を見せてくれます❖



園ならではの体験でルールを理解したり、その必要性に気づいたり、という道徳性や規範意識、自分の気持ちを調整する力や人への思いやりの気持ち<sup>ち</sup>が育っていくのです。



# ほけんだより

## 8月号



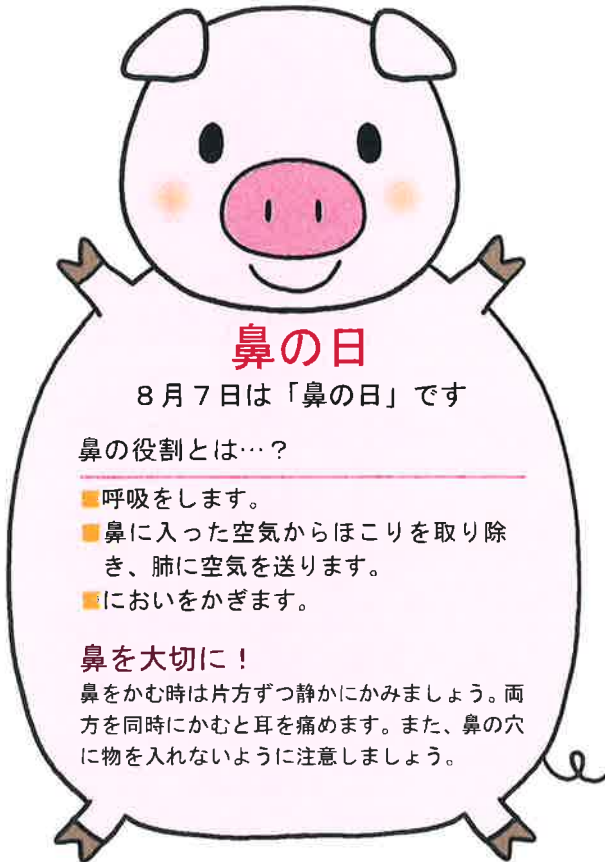
令和元年8月1日

みなとこども園

猛暑が続いています。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気を配りましょう。また、夏休みに遠出される方も多いと思います。体調やけがに気を付けながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

### 夏真っ盛り。海やプールシーズンになりました。

毎年夏になると、溺れて亡くなるお子さんのニュースが目につきます。事故は大きく報道されるので、夏には多くの方が溺れて亡くなるのでは、と思われるかもしれませんが。しかし季節には関係なく4歳までは浴槽内での発生が多く、5歳以降になると河川など自然水域の割合が増えていきます。悲劇を防ぐために何ができるのか、一緒に考えましょう。



詳しくは[www.buzzfeed.com/jp/.../dekisui-yobou](http://www.buzzfeed.com/jp/.../dekisui-yobou) に載っています



# 熱中症：屋外での注意点



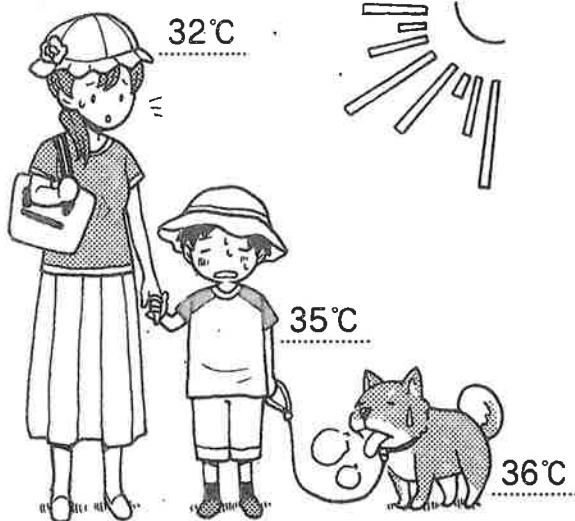
熱中症は、気温や温度が高い時に汗がかけなくなることで体に熱がこもり、体温調節ができなくなる病気です。重症になると生命の危険にさらされることがあります。特に子どもは、体温調節機能が十分に発達していないため、熱中症のリスクが高くなります。しっかりと予防対策を行いましょう。

## ■水分補給

こまめな水分補給が基本です。暑い日には、じわじわと汗をかいているので、のどが渇く前に水分補給をします。また、たくさん汗をかいた時は塩分も補給します。

## ■服装

ゆったりした衣服を選び、襟元をゆるめて風通しをよくします。素材は吸汗・速乾のものを活用しましょう。また帽子をかぶります。帽子は時々涼しいところで外して、汗の蒸発を促します。



## ■地面に近いほど暑い環境になる

気温が高い日の屋外では身長の高い幼児はおとなよりもより暑い環境にいます。それは晴天の時は地面に近いほど気温が高くなるからです。気温は、通常150cmの高さで測ります。東京都心で気温32.3°Cの時には、地面から50cmの高さでは35°Cを超え、地面から5cmでは36°C以上になるそうです。そのため幼児と外出する時は、涼しい場所で休憩する、日陰を選んで歩くなどの配慮が必要です。

# 熱中症：屋内での注意点



## ■エアコンなど

室内では、涼しく過ごす工夫をしましょう。温度や湿度計を置いてチェックし、エアコンや扇風機などを上手に活用します。



## ■水分補給

屋内ですごしている時にも水分補給を忘れずに行います。子どもは、遊びに夢中になっていると、水分をとるのを忘れてしまう場合があるので、気をつけましょう。